

みずほCustomer Desk Report 2016/07/07 号(As of 2016/07/06)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】					公示仲値		101.08
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	
TKY 9:00AM	101.17	1.1064	111.93	0.9769	1.2968	0.7442	
SYD-NY High	101.75	1.1112	112.63	0.9807	1.3026	0.7530	
SYD-NY Low	100.20	1.1029	110.84	0.9743	1.2798	0.7408	
NY 5:00 PM	101.30	1.1098	112.47	0.9752	1.2928	0.7520	
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			14.61/15.22	△25RR	2.003	Yen Call Over	
債券市場							
NY DOW	17,918.62	78.00	債券市場	日本2年債	-0.3300	▲0.5bp	
NASDAQ	4,859.16	36.26		日本10年債	-0.2650	▲1.8bp	
S&P	2,099.73	11.18		米国2年債	0.5773	2.8bp	
日経平均	15,378.99	▲290.34		米国5年債	0.9431	0.5bp	
TOPIX	1,234.20	▲22.44		米国10年債	1.3682	▲0.7bp	
シカゴ日経先物	15,445	▲70.00		独10年債	-0.1760	0.9bp	
ロンドンFT	6,463.59	▲81.78		英10年債	0.7650	▲0.6bp	
DAX	9,373.26	▲159.35		豪10年債	1.8630	▲7.9bp	
為替市況							
ハンセン指数	20,495.29	▲255.43	為替市況	USD/CNH	6.6968	0.0079	
上海総合	3,017.29	10.90		ドルインデックス	96.05	▲0.11	
商品市況							
USDJPY 3M Vol	13.16	0.28%	商品市況	CRB指数	189.956	0.30	
USDJPY 6M Vol	12.54	0.21%		NY金	1,367.100	8.40	
EURJPY 3M Vol	14.06	0.22%		WTI	47.430	0.83	
EURJPY 6M Vol	13.73	0.22%		Dubai Spot	-	-	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月6日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	5月 0.0%/+0.2%	1.0%/0.9%
	16:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 貿易収支	5月 -\$41.1B	-\$40.0B
	22:45	米 マークイット・サービス業PMI/コンボジットPMI(確報)	6月 51.4/51.2	51.3/-
	23:00	ISM非製造業景況指数	6月 56.5	53.3
7月7日	3:00	米 FOMC議事要旨	-	-

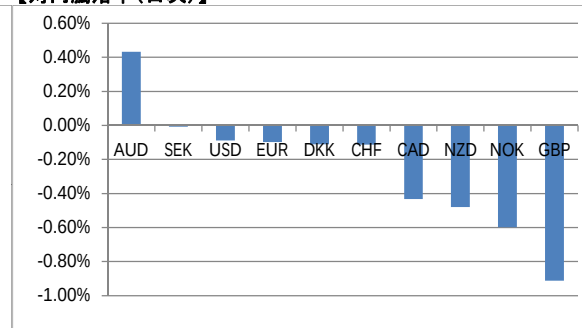
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月7日	8:50	日 対外対内証券投資	-	-
	9:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	15:00	独 鉱工業生産(調整済・前月比/前年比)	5月 0.1%/1.5%	0.8%/1.2%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 -1.0%/0.5%	2.0%/1.6%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 -1.2%/0.4%	2.3%/0.8%
	20:30	欧 ECB議事要旨(6/2分)	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 160K	173K
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	269K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-101.50	1.1000-1.1150	111.50-113.00

【マーケット・インプレッション】

前日の海外市場のドル円相場は反発。この日公表された米連邦準備理事会(FRB)の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録要旨の内容や、米ISM非製造業景況感指数が予想を上回ったことから過度のリスクオフムードが後退。1ドル=101.47円まで水準を切り返した。本日は引き続き「上値の重い展開」を予想。英EU離脱の余波から市場参加者のリスク回避姿勢が強まる中、8日に米雇用統計を控えていることもあり積極的な売買は手控えられよう。オーバーナイトでは一旦戻りを見せているものの「地合い改善」とはなっていない。本日も英EU離脱の影響からボンドの下落が加速すれば、リスクオフムードの高まりからドル売り/円買いに繋がることも想定される。昨日同様、上値の重い展開を予想。

東京	海外時間の流れを引き継ぎ朝方101.05まで下落したドル円は101.17レベルで東京時間オープン。日経平均株価が安寄り後下落幅を拡大する中、ドル円も連れ安となり、101円ちょうどを割れて一時100.59まで下落。その後は100円台後半で上値重く推移したが、後場に入り日経平均株価が下げ止まるとドル円は101円台を回復。特段の材料ない中、101円ちょうどを挟んでの方向感に乏しい推移が続き、結局101.09レベルで海外へ渡った。前日に英国国民投票後の安値を更新したポンドは、朝方に節目となる1.3000を割れた後、1.2968レベルで東京時間オープン。前日の英不動産ファンド解約停止の報道等を受けてのポンド安の流れが継続し一時1.2798まで大幅に下落。その後はじりじりと下落幅を縮小させる展開となり1.2916レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は軟調な展開。朝方は101.09レベルでオープン。アシア株の流れを引き継ぎ欧州株も下落する中でクロス円が売り優勢となったほか、米債利回りも序盤から低下したことで、ドル円は101円台前半から安値100.20まで下落。その後は押し目買いが優勢となりドル円は100円台半ばまで回復、結局100.52レベルでNYへ渡った。ポンドは1.2916レベルで朝方オープン後、急速な下落は小休止。特段新規のポンド売りの引き金となる報道も見当たらない中、1.3016まで反発し、結局1.2973レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は、100.52レベルでNYオープン。発表された米5月貿易収支で輸入が増加したことや、続いて発表された6月ISM非製造業景況指数が、新規受注、雇用等の改善を背景に7ヶ月ぶりの高水準となったことで、米景気は拡大しているとの見方が強まり、8日(金)発表予定の米6月雇用統計も底堅い結果になるとの期待も膨らみ、ドル円は101.16まで上昇。その後、朝方1.32%を割り込んでいた米10年債利回りが1.39%台まで戻す中、ショートカバーと思われる買いもあり、ドル円は101.47まで上昇。午後は101.30付近での推移が続き、結局101.30レベルでクロスした。一方、海外市場で1.1050付近での推移が続いたユーロドルは、1.1054レベルでNYオープン。朝方は、1.1087まで上昇したものの、米ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに、1.1029へ反落する。午後は、軟調に推移していたダウが切り返す展開に、ユーロ円の買いが強まるとユーロドルは下値をサポートされ、1.1112まで戻し、結局1.1098レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・坂本